

The Japan Association of Chinese Language Education

中国語教育学会会報

第51号(通巻76号) 2018年1月20日発行

〒599-8531

大阪府堺市中区学園町1番1号
大阪府立大学 高等教育推進機構
清原文代研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 第16回全国大会発表募集
2. 2017年度第2回理事会報告
 - 2.1 顧問の推薦について
 - 2.2 理事選挙開票結果
 - 2.3 会則及び内規の改定案について
 - 2.4 2017年度第2回編集委員会報告
 - 2.5 第15回全国大会会計報告
 - 2.6 第16回全国大会開催概要
 - 2.7 全国大会準備委員会規約の制定について
 - 2.8 2017年度研究会開催報告、及び研究会開催予定
 - 2.9 デジタルリソース委員会2017年度活動報告
3. 事務局からのお知らせとお願い

1. 第16回全国大会発表募集

中国語教育学会第16回全国大会は、2018年6月2日（土）、3日（日）に早稲田大学で開催されます。
大会概要は下記のWebページをご覧ください。

<http://www.jacle.org/annual/>

第16回全国大会の発表申込み期間は2018年2月1日から2月20日23:00（日本時間）です。

発表申込み前に必ず下記の学会ウェブサイトにて最新の発表応募規定をご確認ください。

<http://www.jacle.org/annual/application/>

発表申込みは2018年1月31日の時点で2017年度までの会費を納入済みの中国語教育学会会員に限ります。会費をまだお納めでない方は早めにご入金ください。なお、本学会の年度は4月に始まり、翌年3月に終わります。2017年度は2017年4月1日から2018年3月31日までです。

Web版会員名簿（会員情報管理システム）を通じて、会員ご自身で会費納入状況を確認することができます。

<https://a-youme.jp/jacle/member2/>

2. 2017年度第2回理事会報告

開催日時、場所、出席者

日時：12月10日（日）13時30分から17時まで

場所：日本大学文理学部本館会議室C（東京都世田谷区桜上水3-25-40）

出席者：清原文代、荒川清秀、古川裕、平井和之、三宅登之、
植村麻紀子、加藤晴子、胡興智、佐々木勲人、鈴木慶夏、陳淑梅、西香織、丸尾誠、
村上公一、山田眞一、氷野善寛（幹事）、中田聡美（幹事、議事録）

2.1 顧問の委嘱

会則第8条、及び名誉会員の決定と顧問の委嘱に関する内規に基づき、会長より荒川清秀会員（2010年度～2011年度の本学会会長）に本学会の顧問を委嘱することが理事会に諮られた。出席した理事全員の賛成を以て、荒川会員が2018年度から本学会の顧問に就任することが承認された。内規に従い、次期会長が第16回全国大会の際に開催される会員総会に報告する。

なお、会則と内規の全文は下記Webページに掲載されている。<http://www.jacle.org/charter/>

2.2 2018年度～2019年度理事選挙結果

会則第8条、及び会長、理事の選出に関する内規に基づき、郵送による理事選挙が実施された（11月23日必着）。11月29日（水）14時30分より大阪府立大学中百舌鳥キャンパスB3棟209教室において、2名の立ち会い人のもと開票が行われた（開票証明書は巻末の資料1を参照）。

開票結果は以下の通りである。

投票数139、有効投票137、無効投票2、有効投票のうち白票1

以下、敬称略。票数が同じ場合は、氏名の五十音順で配列。

第1位：	荒川清秀	66票※
第2位：	古川裕	48票※
第3位：	清原文代	40票※
第4位：	丸尾誠	34票
第4位：	三宅登之	34票
第6位：	郭春貴	33票
第6位：	加藤晴子	33票
第8位：	平井和之	30票※
第9位：	内田慶市	22票
第9位：	鈴木慶夏	22票
第9位：	中西千香	22票
第9位：	西香織	22票
第9位：	村上公一	22票
次点：	山田眞一	21票

票数の後ろの※は会長経験者、会長の再任重任は会則第8条により禁止されている。

理事会での討議の結果、次期会長（2018年度～2019年度）は三宅登之会員に決定した。

また、次期理事（2018年度～2019年度）として下記の11名が選出された。

（敬称略、氏名の五十音順）

内田慶市、郭春貴、加藤晴子、清原文代、鈴木慶夏、中西千香、西香織、平井和之、古川裕、丸尾誠、村上公一

なお、荒川清秀会員については、顧問と理事を兼任することは考えがたく、理事の就任を辞退することとなった。

次期会長は、内規に従い、今回の理事選挙で選出された理事の人数を超えない範囲で、会員の中から更に理事を委嘱することができる。

2.3 会則及び内規の改定案について

会長より会則及び内規の改定が提案された。本学会の会則及び内規については以下を参照。

<http://www.jacle.org/charter/>

提案の趣旨は以下の通りである。顧問も役職の一つであり、現行の会則では「役員は就任時に満68歳を超えていてはならない。」とあるため、現行の会則及び内規によれば、顧問になれるのは満68歳の1年間のみと解釈しうるのは問題である。また、今回の理事選挙のように、満68歳の会員で顧問に推薦された会員が、理事選挙で10位以内入った場合は、顧問と理事を兼ねることについて明文規定で禁止されてはいるものの、2つの役職を兼ねることは通常は考えがたく、理事選挙の際に顧問に推薦された会員に投じられた票が活かされないことになる。したがって、会則と内規の同時改定が必要である。

理事会での審議の結果、下記の通り改定案が決定した。会則の改定は会員総会の承認が必要だが、内規の改定は理事会の承認で変更が可能である。しかし、今回の改定は会則と内規が緊密に関連しており、合わせて改定した方がよいため、2018年6月の第16回全国大会の際に開催される理事会及び会員総会にて改めて決定することとする事となった。

会則の改定

現行の会則	改定案
第4条（会員） 本会の会員は本会の設立趣旨に賛同し、所定の会費を納入した個人および団体とする。国外居住者は個人にかぎり国内連絡先を届け出た場合のみ会員の資格を得る。団体会員は議決権を有しない。上記の会員のほかに名誉会員を置く。名誉会員に関する規定は別に定める。	第4条（会員） 本会の会員は本会の設立趣旨に賛同し、所定の会費を納入した個人および団体とする。国外居住者は個人にかぎり国内連絡先を届け出た場合のみ会員の資格を得る。団体会員は議決権を有しない。 <u>個人会員のうち、資格を満たす会員を名誉会員とする。</u> 名誉会員に関する規定は別に定める。
第8条（役員の選出と任期） 会長、理事は選挙開票後に開かれる理事会において選出する。選出方法に関しては	第8条（役員の選出と任期） 会長、理事は選挙開票後に開かれる理事会において選出する。選出方法に関しては

別に定める。代表理事は選出された理事の中から会長が委嘱する。会計監査ならびに幹事は会員の中から会長が委嘱する。 役員の任期は2年間とし、再任を妨げない。但し、会長の任期は1回にかぎり、再任、重任は認めない。 役員は就任時に満68歳を超えていてはならない。 顧問に関する規定は別に定める。	別に定める。代表理事は選出された理事の中から会長が委嘱する。会計監査ならびに幹事は会員の中から会長が委嘱する。 <u>顧問を除く</u>役員の任期は2年間とし、再任を妨げない。但し、会長の任期は1回にかぎり、再任、重任は認めない。 <u>役員は顧問を除き就任時に満68歳以下(満68歳を含む)でなければならない。</u> 顧問に関する規定は別に定める。 <u>なお、この規定は2019年4月1日より施行するものとする。</u>
---	--

名誉会員の決定と顧問の委嘱に関する内規（→第4条、第8条関連）

現行の会則	改定案
本会の顧問は年齢満68歳以上の会員で、本会の発展に特に大きな功労のあったものに委嘱する。 会長は顧問の委嘱について理事会に諮り、総会に報告して承認を得る。 顧問の会費は免除する。	本会の顧問は<u>就任時に年齢満69歳以上(満69歳を含む)</u>の会員で、本会の発展に特に大きな功労のあったものに委嘱する。 会長は顧問の委嘱について理事会に諮り、総会に報告して承認を得る。 顧問の会費は免除する。 <u>なお、この規定は2019年4月1日より施行するものとする。</u>

会長、理事の選出に関する内規（→第8条関連）

現行の内規	改定案
会長任期2年目の年度内最後の理事会開催以前に、事務局で郵便投票による理事選挙を行い、立会人のもとに開票する。選挙権者は理事選挙のある年の9月30日時点での全個人会員、被選挙権者は次年度に役員資格を有する個人会員（会長経験者を含む）とする。	会長任期2年目の年度内最後の理事会開催以前に、事務局で郵便投票による理事選挙を行い、立会人<u>2名以上</u>のもとに開票する。選挙権者は理事選挙のある年の9月30日時点での全個人会員、被選挙権者は次年度に役員資格を有する個人会員（会長経験者を含む）とする。

2.4 2017年度第2回編集委員会報告

(1) 日時・場所・出席者

日時：12月10日（日）10時00分から13時まで

場所：日本大学文理学部本館会議室C（東京都世田谷区桜上水3-25-40）

出席者：大西博子、加藤晴子、鈴木慶夏、薛鳴、平井和之（委員長）、李貞愛
氷野善寛（幹事・議事録）

(2) 『中国語教育』第16号編集委員

（敬称略、五十音順）

2016年度～2017年度編集委員：大西博子、鈴木慶夏、薛鳴、平井和之（委員長）

2017年度～2018年度編集委員：加藤晴子、中川裕三（2017年4月～10月）、中西正樹、
森宏子（2017年11月～2019年3月）、李貞愛

(3) 『中国語教育』第16号査読結果

平井編集委員長より、『中国語教育』第16号の査読結果について報告が行われた。1本の論文に対して3名が査読を行い、26本の投稿論文のうち最大で8本が掲載されることとなった。

(4) 『中国語教育』第17号編集委員

編集委員の半数の4名が交代するが、第2回編集委員会の時点では全員の選出が終わっておらず、2018年3月までをめぐりに引き続き選出を行うことになった。

(5) 『中国語教育』の投稿規定、執筆要領の改訂について

『中国語教育』第15号に掲載された論文について、抜刷をPDF化したものを機関レポジトリに登録可能かどうか、著者の所属する大学付属図書館より問い合わせがあり、2017年度第1回理事会で審議した結果、抜刷のPDFの機関レポジトリへの登録を認めることとなったが、現在の投稿規定のままでは今後も同様の問い合わせがあることが予想されるため、第2回編集委員会及び第2回理事会で投稿規程の改定について議論したが、結論が出ず、次期編集委員会及び次期理事会に引き継ぐこととなった。

2.5 第15回全国大会（2017年度、関西大学）開催報告

報告者：氷野善寛（内田慶市第15回全国大会準備委員会委員長の代理）

日時：2017年6月3日（土）4日（日）

場所：関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田市山手町3丁目3番35号）

参加者：大会参加者数210名（非会員を含む）、懇親会参加者数90名、書店出店数13社。

第15回全国大会のプログラム等については、以下のWebページを参照。

<http://www.jacle.org/annual15/>

第15回全国大会（2017年度、関西大学）会計報告

収入	
大会開催費（事務局より）	¥400,000
開催校学会補助費（関西大学より）	¥305,000
大会参加費（事前申込128名、当日参加57名）	¥583,500
書店/出版社出展料（13社）	¥43,000
懇親会費（事前申込・当日合計76名）	¥304,000
弁当代（事前申込45名）	¥45,000
計	¥1,680,500
支出	
振込手数料（大会案内発送費）	¥1,728
大会案内印刷・発送費 （あゆみコーポレーションへの業務委託）	¥81,408
予稿集印刷費（遊文舎180部）	¥162,324
立看板用ポスター印刷（関大パンセ）	¥1,395
懇親会代（90人分）	¥360,000
弁当代（1日目バイト、2日目事前申込、計93個）	¥93,000
人件費（大会事前、当日アルバイト）	¥29,4000
事前打ち合わせ費（大会前日・8名）	¥40,000
保育代（ねこぼっこの家・1名利用）	¥7,000
交通費（大会準備、打ち合わせ等）	¥53,050
飲料代（お茶、菓子、紙コップ等）	¥8,131
開催小物代（文具、紙袋等）	¥15,250
郵送代（次期大会準備委員会への郵送）	¥2,320
計	¥1,119,606
残高（大会開催費・事務局に返金）	¥400,000
残高（次年度大会準備委員会への繰越金）	¥160,894

交通費が高くなっているのは準備委員が各地に分散していたためである。事前打ち合わせ費はJoël Bellassen教授との講演の打ち合わせに関する費用である。第15回全国大会は例年を大きく上回る200名以上が参加し、関西大学からの学会補助費が多く支給されたため、残額が多くなった。

2.6 第16回全国大会（2018年度、早稲田大学）開催概要

報告者：村上公一（第16回全国大会準備委員会委員長）

（1）開催日時と会場について

日時：2018年6月2日（土）3日（日）

場所：早稲田大学早稲田キャンパス16号館（土曜日の講演会のみ変更の可能性あり）

(2) プログラム

1日目 (6/2)

・基調講演 60分+質疑応答20分：白井恭弘（ケース・ウェスタン・リザーブ大学教授）

・ワークショップ 2時間：「身近な言語をもっと知ろう ○○語は90分でここまでできる！」

（独・仏・韓・西・露・日本手話の6言語同時進行。使用言語：日本語）90分授業+30分振り返り

※同一時間帯に、早稲田大学チュートリアル中国語・英語の説明・見学会も開催。

ドイツ語、フランス語、韓国語、スペイン語、ロシア語、日本手話の完全な未修者（ゼロ初級者：各クラス事前申し込み先着20名を上限）を対象に、授業（90分）を行い、成績評価を行う。授業設計（評価の基準、評価の結果も含む）は可視化して公表する。

☞「身近な言語」としてこれらの言語をピックアップする理由：日本国内で「外国語の教師」をしているものは団結して、日本の教育の中で日本語以外の言語を学ぶことの重要性を訴えていかなければならない。「外国語教育」が軽んじられてしまえば、特に英語以外の外国語教育そのものが軽んじられてしまえば、中国語教育の重要性を個別に訴えたところで、その効果には限界がある。このため、まず、日本国内の教育機関で教えられる機会の多い言語として、独・仏・韓・露・西の5言語を選んだ。さらに、手話言語は、世界各地に存在する、それぞれが別個の言語体系をもった言語である。日本手話もそのうちの1つである。日本手話は、日本語とは異なる語彙・文法の体系をもった独自の言語であり、またろう者のコミュニティでは母語として使用される自然言語である。つまり、日本手話は、日本国内の少数言語の1つであり、教育機関で教えられる機会はまだ少ないが、身近な言語として選ばれるべき言語と考える。

【目的】

1) 学習者の立場から

- ・教師がふだん忘れがちな、学習者が抱きがちな情意（授業、教材、教師、周囲の学習者……への感情など）を再確認する。
- ・ある言語をまったくのゼロから始めるときに感じる不安、期待、楽しさを再確認する。

2) 教師の立場から

- ・言語項目の導入から始めてコミュニケーションな目標に達するサイクルを、1コマ（90分）の授業で実現する方法もあることを示す。
- ・ある程度構造に関する知識を積み上げないとコミュニケーション活動に移れないという考え方に對し、反例を示す。
- ・自分が教える言語以外の言語では、どのような言語固有の問題点があるのかを理解する。

【WS総合コーディネーター：山崎直樹（関西大学）】

【担当インストラクター（依頼済）】

ドイツ語：池谷尚美（横浜市立大学・非）

フランス語：押尾江里子（佼成学園女子中学校・高等学校 教諭）

スペイン語：落合佐枝（獨協大学・非）

ロシア語：福田知代（東京都立北園高等学校・非）

韓国語：亀井みどり（上智大学・非）、中川正臣（目白大学・客員研究員）→人数によって2クラス

目開講

日本手話：松岡和美（慶應義塾大学）＋小林信恵（慶應義塾大学・非）→ふりかえり時は手話通訳付き

2日目（6/3）

研究発表・実践発表 発表時間20分、質疑応答10分

ポスター発表 発表時間40～50分

（3）学会託児について

早稲田大学に託児所はあるが、日曜日は閉室しているため現在検討中。

2.7 全国大会準備委員会規約の制定

全国大会参加費を取り扱う郵便振替口座の開設を容易にするために、全国大会準備委員会の規約を定め、回数・所在地・委員名・任期を変更して毎年学会Webサイトに掲載することとなった。第16回全国大会準備委員会規約は下記のWebページに掲載済みである。

<http://www.jacle.org/annual/annual-ag/>

2.8 2017年度研究会開催報告、及び研究会開催予定

（1）2017年度第1回研究会（会報第50号に掲載済み）

日時：2017年7月1日（土）13:10～17:00

場所：愛知大学名古屋校舎L801教室

参加者数：計40名（うち会員24名、非会員16名）

概要については以下のWebページを参照。 <http://www.jacle.org/meeting-20170701/>

（2）2017年度第2回研究会（会報第50号に掲載済み）

日時：2017年7月22日（土）13:30～16:40

場所：大阪府立大学I-siteなんばA1+A2

参加者数：計28名（うち会員13名、非会員15名）

概要については以下のWebページを参照。 <http://www.jacle.org/meeting-20170722/>

（3）2017年度第3回研究会

日時：2017年10月28日（土）13:30～16:00

場所：早稲田大学早稲田キャンパス16号館4階401教室

参加者数：計41名（うち会員27名、非会員14名）

【シンポジウム】多様化する中国語学習者－既修者、帰国子女、華裔のいる教室－

〔報告1〕高校における事例報告：藤井達也（埼玉県立伊奈学園総合高等学校）

〔報告2〕大学における事例報告：楊達（早稲田大学）

〔報告3〕既習者、帰国子女、華裔の立場からの経験報告

木村千夏さん（法政大学学生）、藤城奈穂さん（文教大学学生）、呉朝逸さん（早稲田大学学生）

〔ディスカッション〕

2016年度第1回研究会では「拡大する中国語学習環境－留学生との学習、交流の場をどう作るか－」

と題し、中国語を母語とする留学生があふれるキャンパス自体を、中国語教育／学習にとって新しい学びの方法を試みる恰好の機会ととらえ、それを積極的に活用している事例を報告してもらいました。実は教室の中も既修者、帰国子女、華裔など様々なタイプの学習者が混在するようになっています。そこで、今回の研究会では「多様化する中国語学習者－既習者、帰国子女、華裔のいる教室－」と題し、高校や大学の現場でそのような学習者の多様化をどう受け止め、どう対応しているのか（どう対応しようとしているのか）、高校・大学での事例報告をしてもらい、あわせてそれらの立場で学んだ（学んでいる）学習者からの報告を聞いたうえで、参加者の皆さんも加えたディスカッションを行いました。

（4）2017年度第4回研究会

日時：2018年1月27日（土）13:00～17:45（12:30開場）

場所：目白大学新宿キャンパス1号館2階1201教室（東京都新宿区 中落合4丁目31-1）

共催：目白大学中国語学科

対象者：中国語教員、中国語教員をめざしている方

参加費：無料（中国語教育学会の会員でなくても参加可）

定員：なし

申込み：当日参加も受け付けますが、準備の都合上、参加希望者は下記の事前申込み受付フォームより事前登録にご協力をお願いいたします。

事前申し込み受付フォーム <http://kokucheese.com/event/index/499619/>

プログラム：

発表要旨 <http://www.jacle.org/meeting-20180127/>

趣旨説明13:00～13:05 氷野善寛（目白大学・専任講師）

第一部 教育・研究発表

13:05～13:35 伊藤大輔（目白大学・専任講師）「“我送给他书看”について」

13:35～14:05 石井友美（早稲田大学・助教）「意志表現“愿意”の疑問文における特性」

14:15～14:45 岩崎 皇（駒澤大学・准教授）「音声提示による授業について」

14:45～15:15 干野真一（新潟大学・准教授）「インタビュー映像の活用による初級からの実践中国語ディクテーション」

第二部 ワークショップ「音読指導の達人になろう」

15:30～16:00 紅粉芳恵（大阪産業大学・准教授）「音読指導方法の引き出しを増やそう！」

16:00～16:30 阿部慎太郎（天理大学・講師）「単調な音読練習にメリハリを！」

16:30～17:15 氷野善寛（目白大学・専任講師）「音読におけるICTの援用」

17:15～17:45 グループディスカッション

2.9 デジタルリソース委員会2017年度活動報告

報告者：氷野善寛（田邊鉄デジタルリソース委員会委員長の代理）

（1）Web版会員名簿管理システム稼働

学会では、昨年度より会員名簿の管理・新入会・会員情報変更等の業務のアウトソーシングを進め

てきた。今年度は、それに加え「会員名簿管理の電子化・オンライン化」を実施した。前回の理事会で事務局業務の一部を代行している、あゆみコーポレーションにWebシステムの開発およびサーバ管理を委託することが承認されたので、デジタルリソース委員会でチェック・テスト等を行い、2017年9月1日に稼働を開始した。初期データの登録について、「身分」の登録が空白になっているというトラブルがあり、メーリングリストで会員に周知、各自で変更してもらうよう依頼した。運用後3ヶ月を経過した現在、システムに特に問題はない。

(2) 外部団体等からの掲載依頼

外部団体のイベント告知及び大学等公募情報の5件の掲載依頼があり、いずれも学会のWebサイト掲載することに問題のない内容であり、また、会員からの掲載依頼であるため、デジタルリソース委員長が採否を決定、委員会で掲載した。

(3) 2018～2019年度デジタルリソース委員会委員

下記の通り、デジタルリソース委員会の次期委員が提案され、理事会で承認された。

(敬称略、五十音順)

田邊鉄、中田聡美、氷野善寛（委員長）

3. 事務局からのお知らせとお願い

3.1 会員動向

- (1) 会員数（2017年12月3日現在）：計500名、個人会員480名（うち名誉会員25名）、団体会員20名
- (2) 2017年4月～12月3日までの新入会員：35名
- (3) 2017年4月～12月3日までの退会届け提出者：3名
- (4) 会費未納による除籍者（2017年9月30日付け）：9名

2018年度より会則第5条に基づき会費未納で除籍になった会員の氏名を会報に掲載します（会報は学会Webサイトで公開）。退会届が受理された場合、退会者の氏名は掲載いたしません。会費未納がなければ、会員自身でWeb版会員名簿（会員情報管理システム）を使用して退会手続きを行うことができます。 <https://a-youme.jp/jacle/member2/>

3.2 会費納入状況、会費納入のお願い

会費納入（2017年12月3日現在）：2,225,000円

会費納入のご協力まことにありがとうございました。

会費未納の方はお早めに納入くださるようお願い申し上げます。会費納入状況は会員自身がWeb版会員名簿（会員情報管理システム）で確認することができます。 <https://a-youme.jp/jacle/member2/>

また、第16回全国大会に発表申込みをお考えの方は、発表申込みは2018年1月31日までに2017年度までの会費を納入済みの会員に限りますので、期日までにご納入ください。

4月に郵送した払込取扱票を紛失された場合は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」を使用して、下記の郵便振替口座に送金してください。

[口座記号-口座番号] 00110-1-191152 [加入者名] 中国語教育学会

3.3 登録情報の変更について

登録情報（住所・所属・メールアドレス等）に変更がある場合は、会員自身がWeb版会員名簿（会員情報管理システム）を使って随時変更することができます。 <https://a-youme.jp/jacle/member2/>

1月下旬に会員名簿の郵送、3月下旬に学会誌『中国語教育』第16号の郵送が予定されています。住所に変更がある場合はお早めに手続きをお願いいたします。

Web版会員名簿（会員情報管理システム）の運用については、あゆみコーポレーションに委託しております。Web版会員名簿に関するお問合せは下記のあゆみコーポレーションまでお願いします。

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内 中国語教育学会事務局事務代行

E-Mail support@jacle.org

TEL. 06-6441-5260（代） FAX. 06-6441-2055（代）

あゆみコーポレーションは複数の学会の事務局業務の代行を行っており、電話番号、ファックスとも他学会と共通で使用しているため、ご連絡の際には「中国語教育学会」についての問い合わせであるということをお伝えください。

3.4 事務局の移転予定について

会長交代に伴い、**2018年4月1日より**事務局が下記に移転する予定です。なお、メールアドレスや学会WebサイトのURLは変わりません。

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学 三宅登之研究室内

中国語教育学会事務局

E-Mail headoffice@jacle.org

Website <http://www.jacle.org/>

記

【選挙名】中国語教育学会 2018～2019 年度理事選挙

【開票日時】2017 年 11 月 29 日（水）14:30 から

【開票場所】大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B3 棟 2 階 209 教室

投票数：139

有効投票数：137

無効票数：2

（投票期限に間に合わなかったもの：1、投票用紙を使用しなかったもの：1）

白票：1

開票結果

1 位：	荒川 清秀	66 票
2 位：	古川 裕	48 票
3 位：	清原 文代	40 票
4 位：	丸尾 誠	34 票
4 位：	三宅 登之	34 票
6 位：	郭 春貴	33 票
6 位：	加藤 晴子	33 票
8 位：	平井 和之	30 票
9 位：	内田 慶市	22 票
9 位：	鈴木 慶夏	22 票
9 位：	中西 千香	22 票
9 位：	西 香織	22 票
9 位：	村上 公一	22 票
次点：	山田 眞一	21 票

以上の選挙について、正当な手続きに基づき、正確かつ公正な開票がなされたことをここに証する。

開票立会人

内田慶市 
紅粉芳恵 

以上